

(様式)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

営農計画書

農地法第3条の規定による許可申請に当たって、同条第2項各号に照らした審査に必要な事項を明らかにするため、この営農計画書を提出します。

譲受人(賃借人) 住所 甲斐市下今井〇〇番地

氏名 甲斐太郎(譲受人、借人)

※署名は自署すること。

1. 農地の利用計画

① 今回、権利を移動又は設定する農地

借りの場合は、賃借権、使用貸借権

農地の所在	地番	面積(m ²)	権利の種類	権利者の氏名	主たる 耕作者の氏名	耕作者との 続柄	栽培予定作物
下今井字〇〇	1234	500	所有権	甲斐太郎	同左	本人	ブドウ
下今井字〇〇	1235	1,000	〃	〃	〃	〃	コシヒカリ
		a					

※欄外にわたる場合は別紙1-①に記入する。採草放牧地の場合は、栽培予定作物の欄に家畜の種類及び頭数を記載する。

② 今回、権利を移動又は設定する農地の設定理由及び経営拡大の目標

所有地の隣地にあり、経営を拡大するため

③ ①の農地への通作が可能である根拠

通作距離(片道) (1 km) 交通手段(自動車) 所要時間(片道)(時間 5 分)

通作距離が著しく長い場合の営農が可能である根拠・理由

④ 今回、権利を移動又は設定する農地の利用計画

作付時期(〇 月から)					⑤整備予定の農業機具、施設等		
	作付予定 作物名	作付予定 予定面積 (m ²)	年間予定 収量 (kg)	営農の概要 主な出荷先 販売方法	名称	数量	今後整備する 農業用施設 (整備経費:万円)
1年目	ブドウ コシヒカリ	500 m ² 1,000 m ²	〇kg 〇kg	〇〇農業 自家消費	コンバイン	1	等、今後購入するものがあれば記入する
2年目	〃	〃	〃	〃			
3年目 以降	〃	〃	〃	〃			

⑥ 全ての農地における年間収支計画

生産経費:万円	生産収支:万円
100	150

⑦ 1-①(今回、耕作する権利を取得する農地)と2-①(既に耕作する権利を有する農地)の合計面積

3,000 m²

1-①のaと2-①のbの合計面積

2. 現在の営農状況

① 既に耕作する権利を有する農地

農地の所在	地番	面積 (㎡)	権利の種類	権利者の氏名	主たる 耕作者の氏名	耕作者との 続柄	栽培作物
〇〇字〇〇	2345	1,200	所有権	甲斐 太郎	同左	本人	コシヒカリ
〇〇字〇〇	3456	600	”	”	”	”	野菜
		b					

※欄外にわたる場合は別紙2-①に記入する。採草放牧地の場合は、栽培作物の欄に家畜の種類及び頭数を記載する。

② 既に耕作する権利を有する農地の利用状況

作付 作物名	作付 面積 (㎡)	年間 収量 (kg)	営農の概要 主な出荷先 販売方法
コシヒカリ	1,200	〇〇	農協
野菜	600	〇〇	自家消費

③ 所有する農業機具、施設等

所有する農機具		農業用施設
名称	数量	
トラクター	1	
ハーベスター	1	
田植機	1	
等		

④ 権利を有するが、他者に貸している農地

農地の所在	地番	面積 (㎡)	権利の種類	借受者氏名 (小作人氏名)	他者へ農地を貸し付けた経緯 営農の状況(栽培作物)
※あれば記入する					

※欄外にわたる場合は別紙2-④に記入する。

⑤ 過去5年間に売却した農地

農地の所在	地番	面積 (㎡)	農地法第3条 第5条の別	買受者の 利用目的	他者への農地を売却した経緯
※あれば記入する					

※欄外にわたる場合は別紙2-⑤に記入する。

3. 新規就農者の場合の技術習得実績及び計画(新規に農地の権利を取得する者のみ記載する。)

① 農業技術習得実績

習得年数	技術を習得した場所(施設名等)	技術習得の内容

② 農業技術習得計画

習得予定年数	技術を習得予定地(施設名等)	技術習得の内容

③ 就農に際しての借受の状況

融資機関の名称	貸金・事業名	借受金額(万円)